

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

間伐（伐木）作業について

私にとって「木を倒す」というのは、ドラマの中の世界で、それも斧を使い「倒れるぞ～」の掛け声と共に倒れていくというものでした。

その認識が変わったのは、ZFCに参加するようになり初めて間伐作業に同行したときでした。チェーンソーで木を切り、みんなで力を合わせてロープで引く...音を立てて木が倒れる...（当時は、「受け口」、「追い口」などの言葉も知らないの、ただ切っているように見えていました）。「すごいところに参加してしまった」と思ったのと同時に「楽しそう」と思いました。かなり危険な作業をしているのは分かるのですが、各メンバーが安全に十分配慮して作業を行っていたので、初心者の私でも不安を感じる事が無く「楽しそう」に見えたのだと思います。

私も早くチェーンソーを使って伐木ができるように安全講習を受けようと思いましたが、ZFCに案内がくる講習会は、年に2回程度で、それも平日開催のものばかりでした。平日に2日間連続で会社を休むのが難しかったので、なかなか受講することができず、数年が過ぎてしまいました。これではいつまで経ってもチェーンソーは使えないと思い、土日に講習会を開催しているところを探し、やっと安全講習を受けることができました。受講前は、安全講習を受講したら、そこそこチェーンソーが使えるようになるのかと思っていましたが、さすが「安全講習」と言うだけあって、法令や安全に関する座学がほとんどでチェーンソーを使った実習は半日程度でした。実習の中では、整備（分解／組み立て、目立て）と使い方（エンジン始動／玉切り）を行いました。ほとんど講師がやっけてしまい、受講生がチェーンソーを使ったのは、使い方のところで、エンジン始動を行い、太さ10cm程度の木を玉切りにするほんの1分くらいの時間でした。

それでも講習会終了時には、ちゃんと終了証が発行されチェーンソーが使える資格をもらいましたが、はっきり言って、「これで使っているの？」と言う状態でした。まあ、チェーンソーの整備とか使い方は、「自分で勉強しろ」と言うことなんだと理解してチェーンソーを使った伐木に関する本を数冊読んでみました。でも、整備などについては本を読んだだけでは分からないことが多かったので、ジャンク品のチェーンソーを購入して、分解・組み立て・目立てなどの練習を自宅で夜な夜なやっていました。どうせ、エンジンも掛からないチェーンソーだったので、素人には禁断のキャブレターの分解掃除もしてみようと分解したところ、細かい木屑が詰まっているところがあり、きれいに取り除き、組み立てなおしたところエンジンが掛かるようになってしまいました。これには、自分でもびっくりしましたが、やはりチェーンソーなどの機械類は普段からのメンテナンスが重要だということを痛感した出来事でした。

チェーンソーの整備については、まあまあ練習できたので、あとは、伐木の技術について勉強しなければと思い、再度チェーンソーによる伐木に関する本を読み直し、ZFCで行っている実際の間伐作業で先輩方が、対象木の「何を見て」、「どう判断」しているかを見聞きしながら、受け口・追い口の入れ方などを勉強しました。やはり、一本一本の木の状態が違うので一筋縄では行きませんが、実際の現場に立って数多く経験することが一番の勉強方法だと思いました。実際に自分でチェーンソーを操作していなくても、対象木を見て自分ならどうするかシュミレーションするだけでも、いい勉強になると思います。

最後に、何よりも重要な「安全確保」についてですが、はじめに書いたように安全に十分配慮して「楽しそう」と見えるような状態を常に作っておくことが必要だと思います。間伐作業について先輩方に教えていただく際に良く出る言葉が「伐木作業の基本に忠実に行くこと」でした。私が読んだどの本の中にも伐木作業の基本について多くのページが使われていました。やはり、先輩方に教えていただいた「伐木作業の基本」が重要なことを再確認しました。また、伐木作業を繰り返し行っていくうちに、「伐木作業の基本」の中には危険を回避する要素が多分に含まれていて、忠実に作業を行うことでかなり危険を回避できるということが体験としてわかってきました。

これからも、基本に忠実な作業を行うことにより、事故を起こさず末永く間伐作業を含むZFCの活動が続けられるよう気をつけて行きたいと思います。

武田正人

1. 7～8月の活動報告

- ① 7月24日(土)晴 17名 製材、クヌギ林トウネズ伐倒
- ② 7月31日(土)晴 17名 準活動日、横浜栄高校支援(17名。下草刈り)
- ③ 8月7日(土)晴 27名 トイレ前草刈り、納涼会
- ④ 8月14日(土)晴 21名 クヌギ林下草刈り、同ヤマグワ伐倒、ドラム缶窯修理
- ⑤ 8月15日(日)晴 2名 森を守るボランティア活動支援
- ⑥ 8月21日(土)晴 20名 トウネズ除伐、20周年標柱、運営会
- ⑦ 各水曜日ほかに準活動日として木工作业を実施



高校生の体力は無尽蔵！？
やるべきことを明確に指示すれば
やります！今の高校生も。



納涼会。猛暑の今年ですがココはやっぱり涼しい！
センター大久保さんから、蝦夷鹿肉(釧路湿原で害獣駆除したものを)をいただきました。さっぱりして美味しかった。



2. 8月度運営会報告 ー8月21日開催ー

- ① 9月の作業打ち合わせ ー3項参照ー

3. 9月度活動予定

- ① 9月4日(土) 下草刈り(池の上)、竹林整備(新たに生えてきた若竹を刈る)。味噌汁係:長島、佐野、山本
- ② 9月11日(土) トウネズ除伐(長倉町方面)、竹林整備(同上)、炭材詰め(ドラム缶窯)。同:橋詰、大庭、工藤
- ③ 9月18日(土) 下草刈り(桜林:セイタカアワダチソウ抜き)、トウネズ除伐(長倉町方面、桜林に向かう舗装路の側溝内)、炭焼き(ドラム缶窯)、運営会(午後)。同:片岡、斉藤、林
- ④ 9月25日(土) 製材、炭小屋整理、道具手入れ、クヌギ林の管理作業。同:鈴木、吉田、佐藤
- ⑤ 毎水曜日:準活動日
- ⑥ 10月9(土)・予備日10月23日(土): ZFC20周年記念パーティ。炭小屋にて

4. 編集後記

- ① 巻頭コラムは武田さんです。武田さんの伐倒やチェーンソーへの思いと、現物を手にして苦労されたことがよく分かりました。私たちも常に現地・現物・現実から学ぶ姿勢を大切にしていきたいものです。
- ② まだまだ今年は厳しい残暑が続きそうです。夏バテから来る食中毒はこれからですので注意が一層必要です。水分に関しては殆どの方が自身で補給態勢を整えてらっしゃいますが、休息もちょっと休み過ぎかなと思うくらい取るようにしましょう。この秋は、10月9日のZFC20周年記念行事などいろいろあります、体力を蓄えて体調を準備万端整えておきましょう。

以上